笛吹市文化財調査報告書　第３集

山梨県笛吹市

国　府　遺　跡

平成１６年度国府遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書

２００５．３
笛吹市教育委員会

目　次

はじめに
目　次
例　言

1　平成16年度国府遺跡発掘調査のいきさつとねらい……1
2　位置と環境……1
3　調査経過……6
4　遺構……8
5　遺物……12
6　まとめと課題……13

写真図版

例　言

1　本書は、山梨県笛吹市春日居町に所在する国府遺跡の平成16年度発掘調査の概報である。

2　本調査は笛吹市教育委員会を調査主体とし、国・県の重要遺跡確認調査補助金を得て行われた。

3　出土品及び図面、写真は笛吹市教育委員会が保管している。

4　本書は十菱駿武・内田裕一が執筆・編集した。

5　平成16年度発掘調査と本書を作成する過程で多くの方々から指導・助言をいただいた。記して厚く感謝する。

笛吹市、山梨県教育委員会学術文化財課、山梨県立考古博物館、山梨県埋蔵文化財センター、帝京大学山梨文化財研究所、山梨学院大学、山梨県考古学協会、平川南、鳥羽政之、鈴木稔、関正夫、芦澤洋一、清水兵武、土橋和行、吉岡尚男、室伏徹、平野修、川口純一。

1　平成16年度国府遺跡発掘調査のいきさつとねらい

笛吹市春日居町国府・寺本・熊野堂・鎮目に所在する甲斐国府推定地に関連する遺構について、春日居町教育委員会はこれまで14年間にわたる確認発掘調査を実施してきている。昭和63（1988）年度の国府遺跡池ノ尻地区で発見された古代礎石建物址を契機に、古代官衙遺構の確認と、甲斐国府推定地域の遺跡残存状況の把握を目的に発掘調査、地中レーダー調査を昭和63・平成元・2・3・4・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16年度に行ってきた。この結果、国府遺跡に奈良・平安時代の高床総柱の礎石建物址が2棟以上あり、官衙に付属する租・出挙の稲・米を納めた正倉群があること、その北限と西側の道万町地区に基壇状遺構と石列遺構があることを確認した。神東町遺跡では古墳時代後期～平安時代の竪穴住居址を20数軒・掘立柱建物址1棟を確認し、メノウ勾玉、「生」の刻書土器、灰釉陶器が出土した。さらに熊野南遺跡では奈良・平安時代の竪穴住居址5軒と石組遺構を確認し、椚田遺跡では古墳時代後期～平安時代の竪穴住居址10軒以上、掘立柱建物址2棟・溝状遺構・焼土遺構を確認した。国府遺跡・寺本廃寺遺跡周辺の遺跡群で、古墳時代後期（7世紀）から平安時代（11世紀）にかけての集落跡・倉庫跡があることがはっきりしたが、国庁や郡衙などの官衙建物と断定できる大規模な建物址は発見できなかった。しかし、遺物としては緑釉陶器、墨書土器、メノウ勾玉、獣足付火舎等一般集落には伴わない高級品が出土しており、公的性格の濃い遺跡であることを間接的に示したのである。

平成12年度（2000）の国府関連遺跡発掘調査では、平成9・11年度の狐塚地区に続き、熊野堂字狐塚199番地の狐塚地区の畑の土地発掘の承諾をいただいたので、熊野南遺跡の広がりを追求し、古墳時代後期（7世紀）から奈良・平安時代の遺構の確認を目的に発掘調査を行った。平成13・14年度（2001・2002）の国府関連遺跡発掘調査では、寺本廃寺遺跡の南西部の道万町地区を発掘し、溝跡、基壇状遺構、住居址を確認した。寺本廃寺の外郭遺構か、官衙の一部かとみられたが、結論は得られなかった。

平成15・16年度（2003・2004）の国府関連遺跡発掘調査では、昭和63年度の国府遺跡池ノ尻地区の西側の果樹畑を発掘し、礎石建物址の一部を追求することになった。

（十菱駿武）

2　位置と環境

本遺跡のある笛吹市春日居町は、甲府盆地東部の笛吹川の扇状地に位置し、北西に兜山・御室山が控え、東と西は笛吹川に画されている。明治40（1907）年までは笛吹川が現在の流路より約300m南を流れていたが、その年の大水害により、昭和63年度調査区（国府字池ノ尻175番地）の南までが流され現在の流路になった。今年度の調査区は宮川と平等川等の笛吹川扇状地に位置し、昭和63年度池ノ尻調査区の西隣の畑である。

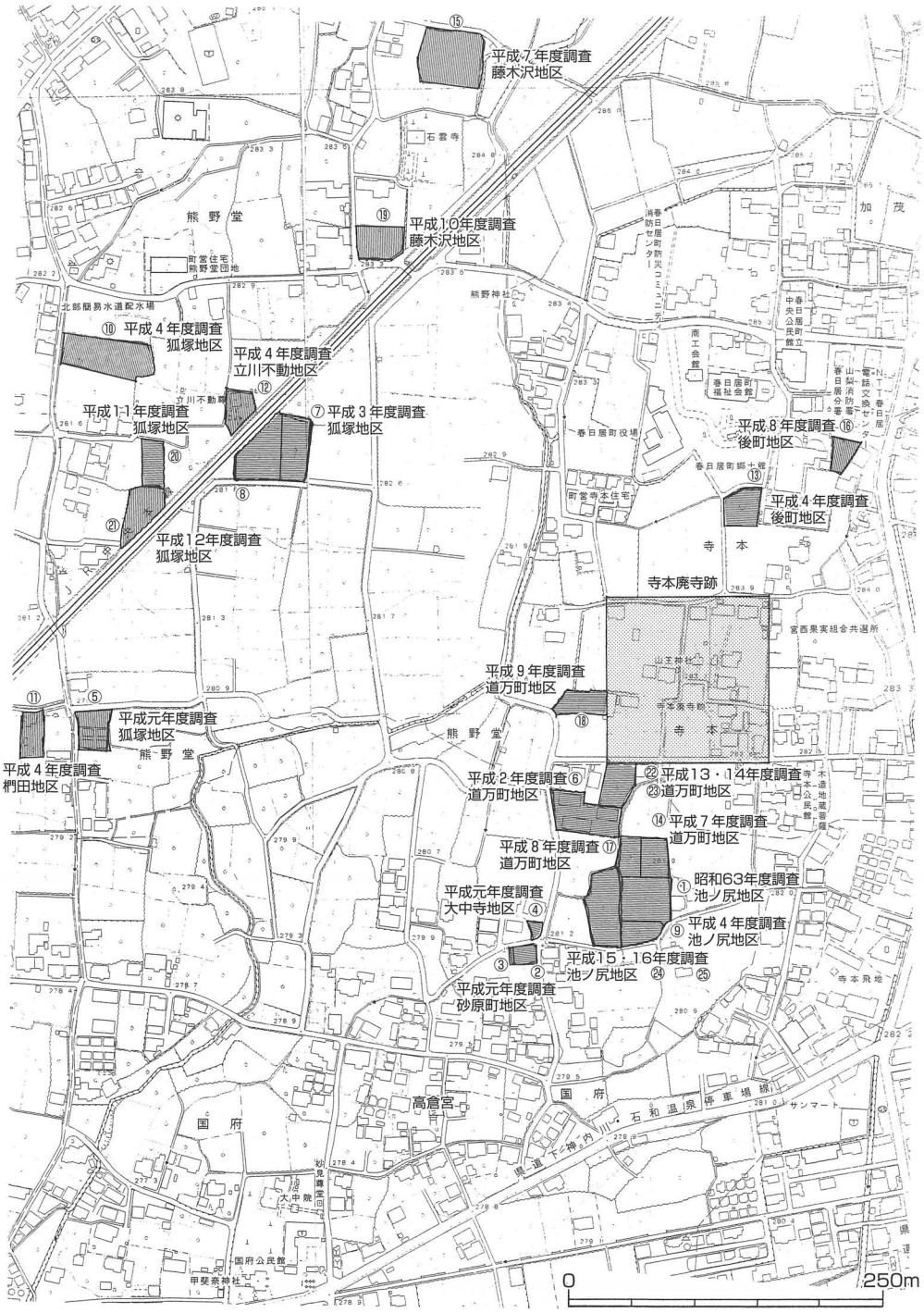
国府関連遺跡周辺は1950年ごろは水田・桑畑がほとんどを占めていたが、現在はブドウ・モモ等の果実に転換され、一大果実地帯になっている。　（内田裕一）

国府関連遺跡発掘調査区一覧表（1）

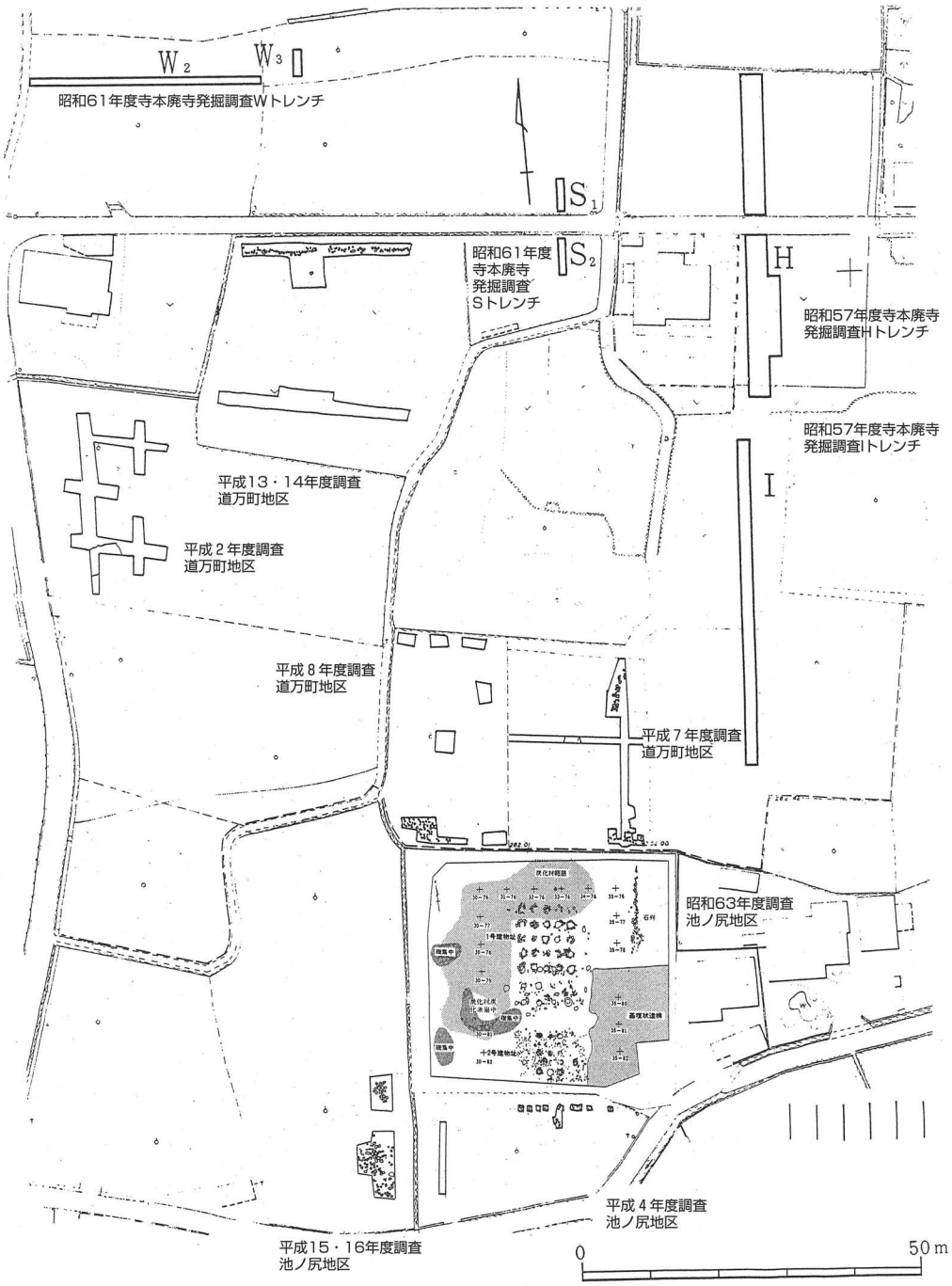
調査区番号	地番	調査期間	調査面積	備考
①	国府字池ノ尻173番地	昭和63年11月4日～平成元年3月31日	1,115㎡	礎石建物址2棟、基壇状遺構、石列を確認。
②	国府字砂原町308番地	平成2年2月5日～平成2年2月17日	70㎡	検出遺構無し。
③	国府字砂原町309番地	平成2年2月13日～平成2年2月17日	10㎡	検出遺構無し。
④	国府字大中寺 165番地－1	平成2年2月19日～平成2年2月28日	40㎡	検出遺構無し。
⑤	熊野堂字狐塚 4・5番地	平成2年3月1日～平成2年3月31日	150㎡	掘立柱建物址2、溝状遺構、住居址等を確認。
⑥	寺本字道万町46番地	平成3年2月13日～平成3年3月31日	135㎡	検出遺構無し。
⑦	熊野堂字狐塚 138番地－1	平成4年1月27日～平成4年3月15日	165㎡	住居址を10軒確認。
⑧	熊野堂字狐塚131番地	平成4年1月27日～平成4年3月15日	110㎡	住居址を10軒確認。
⑨	国府字池ノ尻175番地	平成4年12月15日～平成4年12月23日	25㎡	礎石建物址の根石を確認。

国府関連遺跡発掘調査区一覧表（２）

調査区番号	地番	調査期間	調査面積	備考
⑩	熊野堂字狐塚155番地	平成４年12月24日～ 平成４年12月23日	25㎡	住居址を２軒確認。
⑪	鎮目字椚田311番地	平成５年１月11日～ 平成５年１月22日	25㎡	住居址を１軒確認。
⑫	熊野堂字狐塚 135番地－１	平成５年１月27日～ 平成５年２月２日	15㎡	立川不動堂境内住居址を１軒確認。
⑬	寺本字後町 159番地－１	平成５年１月25日～ 平成５年３月31日	100㎡	住居址を３軒確認。
⑭	寺本字道万町 46番地－１	平成８年１月16日～ 平成８年３月５日	80㎡	石積遺構、石列を確認。
⑮	熊野堂字藤木沢 336番地	平成８年３月５日～ 平成８年３月30日	125㎡	住居址を１軒確認。
⑯	寺本字後町 175番地－１	平成８年11月11日～ 平成９年１月	40㎡	住居址を３軒確認。
⑰	寺本字道万町 41番地－２	平成８年12月～ 平成９年１月31日	45㎡	基壇状遺構を確認。
⑱	寺本字道万町 57－１・58番地	平成10年３月10日～ 平成10年３月31日	50㎡	基壇状遺構、住居址１軒確認。
⑲	熊野堂字藤木沢 321番地－２	平成11年３月８日～ ３月31日	150㎡	住居址を３軒確認。
⑳	熊野堂字狐塚151番地	平成12年１月21日～ ３月31日	250㎡	住居址を２軒確認。
㉑	熊野堂字狐塚 149番地－１	平成13年３月６日～ ３月31日	150㎡	住居址を３軒確認。
㉒	寺本字道万町 49番地－１	平成13年11月７日～ 12月10日	100㎡	溝跡・基壇状遺構を確認。
㉓	寺本字道万町 49番地－１	平成15年２月18日～ ３月31日	90㎡	溝跡・住居址を１軒確認。
㉔	国府字池ノ尻171番地	平成15年11月19日～ 12月27日	50㎡	礎石建物址を確認。
㉕	国府字池ノ尻171番地	平成17年１月12日～ ３月９日	50㎡	礎石建物址を確認。


⑮ 平成7年度調査
藤木沢地区
⑲ 平成10年度調査
藤木沢地区
⑩ 平成4年度調査
狐塚地区
平成4年度調査
立川不動地区
⑫
平成11年度調査
狐塚地区
⑦ 平成3年度調査
狐塚地区
⑧
⑳
㉑
平成12年度調査
狐塚地区
平成8年度調査
後町地区
⑯
⑬
平成4年度調査
後町地区
寺本廃寺跡
平成9年度調査
道万町地区
⑱
⑪
⑤
平成元年度調査
狐塚地区
平成4年度調査
椚田地区
熊野堂
平成2年度調査⑥
道万町地区
㉒ 平成13・14年度調査
㉓ 道万町地区
⑭ 平成7年度調査
道万町地区
平成8年度調査⑰
道万町地区
① 昭和63年度調査
池ノ尻地区
平成元年度調査
大中寺地区 ④
⑨ 平成4年度調査
池ノ尻地区
③
② 平成15・16年度調査
池ノ尻地区 ㉔ ㉕
平成元年度調査
砂原町地区
高倉宮
国府
0
250m

国府関連遺跡位置図



平成16年度国府関連遺跡発掘調査区周辺図

3　調査経過

国府遺跡の調査の歴史は今から約30年前までさかのぼる。国府字池ノ尻175番地の窪田徳一郎氏のブドウ園より昭和29（1954）年12月、礎石が6個発見された。その情報を町文化財審議会委員野沢昌康氏が耳にし、その後何回か野沢氏を中心に調査がおこなわれた。その後昭和62（1987）年に寺本廃寺第3次発掘調査がおこなわれた際、池ノ尻175番地の地中レーダー調査も実施され、試掘調査により礎石7カ所と石敷基壇を確認した。

昭和63（1988）年に池ノ尻175番地の全面発掘調査を目的として昭和63年度国府遺跡発掘調査が実施された。その結果礎石建物址2棟、基壇状遺構、石列が確認された。遺物は土師器、須恵器、灰釉陶器、瓦、炭化材、炭化米がテンバコ6箱分出土した。

それ以降の発掘調査は国府関連遺跡の範囲確認を目的として実施した。平成元年度発掘調査では調査区を4カ所設定し、狐塚4・5番地において掘立柱建物址2棟、住居址7軒、溝状遺構を確認した。遺物は土師器、須恵器、灰釉陶器がテンバコ10箱分出土した。またこの調査と平行して地中レーダーを使用した範囲確認調査も実施され、国府字大中寺を中心に溝状遺構・住居址等があることが確認された。平成2年度発掘調査では寺本字道万町46番地において住居址1軒、溝状遺構等を確認した。遺物は土師器、須恵器、炭化材がテンバコ5箱分出土した。またこの調査と平行して地中レーダーを使用した範囲確認調査も実施され、寺本字後町において住居址、窯跡状遺構を確認した。平成3年度発掘調査では熊野堂字狐塚131番地・138番地－1において奈良・平安時代の住居址を20数軒確認した。遺物は土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、瓦等がテンバコ8箱分出土した。またこの調査と平行して地中レーダーを使用した範囲確認調査も実施され、熊野堂狐塚地区の立川不動堂周辺において溝状遺構を確認した。平成4年度発掘調査では5カ所の調査区を設定した。国府字池ノ尻175番地では礎石建物址の根石を確認し、土師器、須恵器等がテンバコ1個分出土した。熊野堂字狐塚155番地では平安時代の住居址1軒を確認し、土師器、須恵器等がテンバコ1個分出土した。鎮目字椚田311番地では平安時代の住居址1軒を確認し、土師器、須恵器、緑釉陶器等がテンバコ1個分出土した。熊野堂字狐塚135番地－1（立川不動堂境内）においては平安時代の住居址や溝状遺構を確認し、土師器、須恵器、五輪塔の地輪、風輪が出土した。寺本後町159番地－1（ふれあい広場A）においては古墳時代の住居址1軒、平安時代の住居址を2軒を確認し、土師器、須恵器、瓦、勾玉がテンバコ6個分出土した。またこの調査と平行して地中レーダーを使用した範囲確認調査も実施され、国府字池ノ尻地内において礎石、基壇状遺構、溝状遺構等を確認した。

平成7年度の発掘調査においては寺本字道万町41番地－1、熊野堂字藤木沢336番地において調査を実施した。その結果寺本字道万町41番地－1では石列、石積遺構、住居址等を確認し、土師器、須恵器、布目瓦等がテンバコ3個分出土した。熊野堂字藤木沢336番地では奈良時代の住居址1軒を確認し、土師器、須恵器、灰釉陶器、獣足状土製品等がテンバコ3箱分出土した。

平成8年度の発掘調査においては寺本字後町175番地－1、寺本字道万町41番地－2において調査を実施した。その結果寺本字後町175番地－1では平安時代の住居址を3軒確認し、土師器、

須恵器、灰釉陶器、布目瓦、鉄製品等がテンバコ３箱分出土した。寺本字道万町41番地－２では基壇状遺構、石組遺構等を確認し、土師器、須恵器、灰釉陶器、布目瓦等がテンバコ３個分出土した。

平成９年度の発掘調査は寺本字道万町57番地－１・58番地で実施した。その結果、平安時代の住居址１軒、基壇状遺構１ヶ所を確認し、土師器、須恵器、布目瓦等がテンバコ３箱分出土した。

平成10年度の発掘調査は熊野堂藤木沢321番地－２で実施した。その結果、平安時代の住居址３棟を確認し、土師器・須恵器・鉄製品がテンバコ２個分出土した。

平成11年度の発掘調査は熊野堂狐塚151番地で実施した。その結果、奈良時代の住居址１軒、平安時代の住居址１軒を確認し、土師器、須恵器、緑釉陶器、鉄製品がテンバコ４個分出土した。

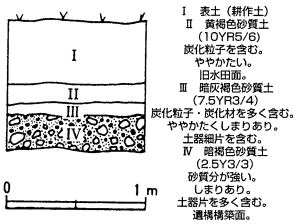
平成12年度の発掘調査は熊野堂字狐塚149番地－１で実施した。その結果、奈良時代の住居址１軒、平安時代の住居址２軒を確認し、土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、鉄製品がテンバコ４個分出土した。

平成13年度の発掘調査は寺本字道万町49番地－１で実施した。その結果、平安時代の住居址１軒、基壇状遺構１ヶ所、溝状遺構１カ所を確認し、土師器、須恵器、布目瓦等がテンバコ３箱分出土した。

平成14年度の発掘調査は寺本字道万町49番地－１で実施した。その結果、平安時代の住居址１軒、石敷基壇、溝状遺構１カ所を確認し、土師器、須恵器、布目瓦等がテンバコ３箱分出土した。

平成15年度の発掘調査は国府字池ノ尻171番地で実施した。ブドウ畑、モモ畑であった池ノ尻地区が、窪田菊美氏の全面的な協力を得られたため、昭和63年度の池ノ尻地区の礎石建物址の位置から試掘トレンチ５カ所を設定した。その結果、礎石建物址１棟、基壇状遺構を確認し、土師器、須恵器、布目瓦、炭化米・炭化材等テンバコ３箱分が出土した。

平成16年度の発掘調査は国府字池ノ尻171番地で実施した。ブドウ畑、モモ畑であった池ノ尻地区が、関口千な子氏の全面的な協力を得られたため、昨年度一部確認した礎石建物址の規模・性格を確認するためにトレンチ２カ所を設定した。その結果、礎石建物址１棟・集石遺構を確認し、土師器、須恵器、布目瓦、炭化材等テンバコ３箱分が出土した。

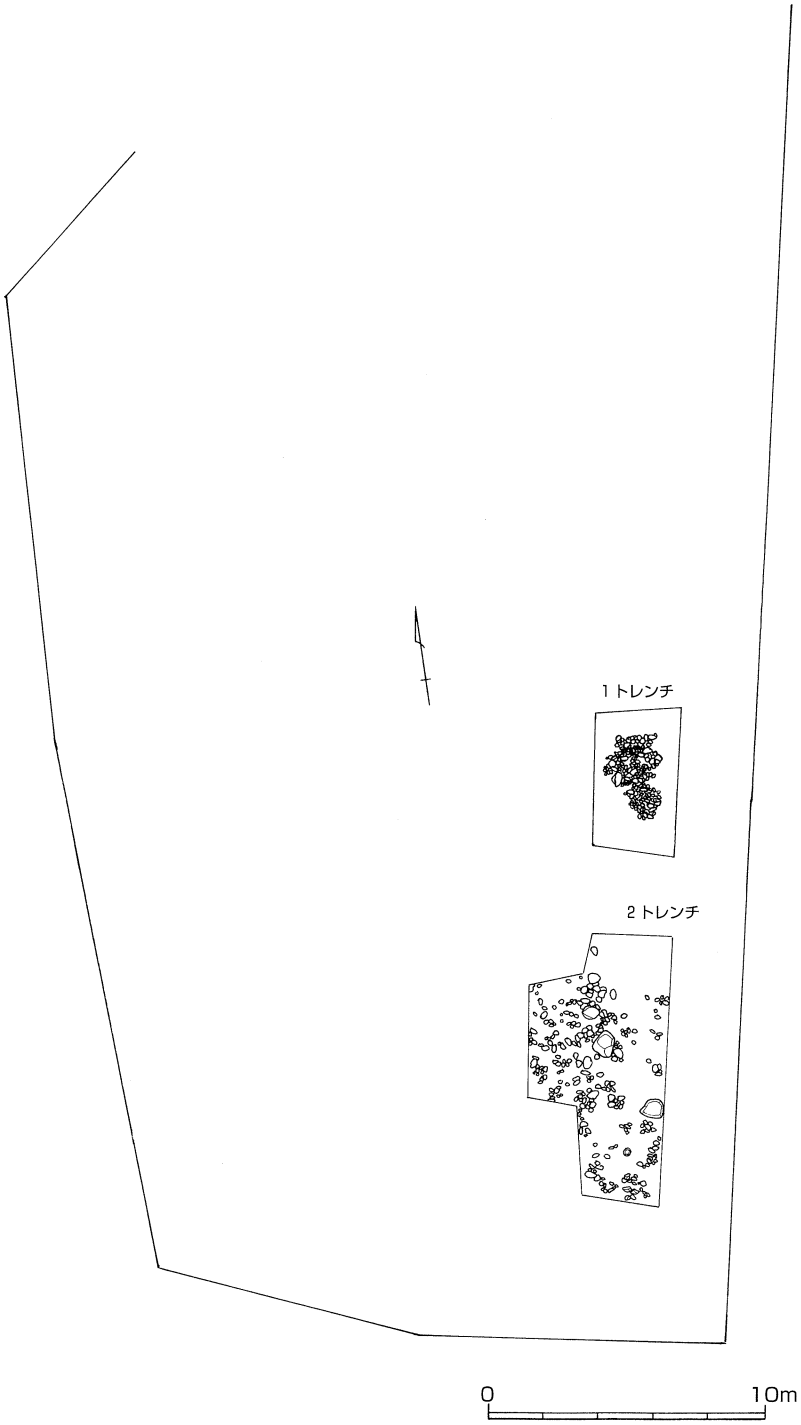


国府遺跡標準土層図

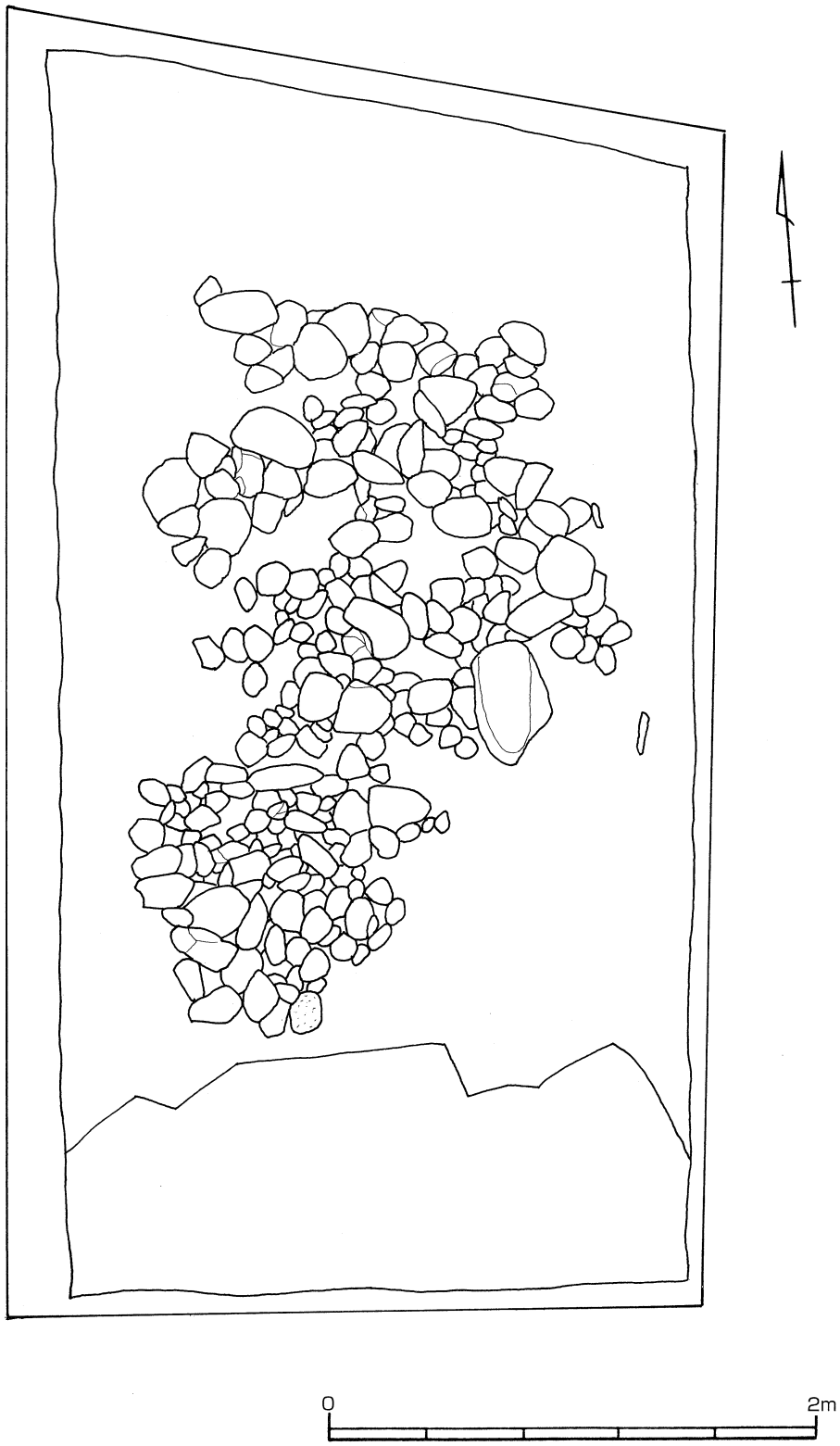
調査概要

遺　跡　名	小字・地番	調　査　期　間	調査面積
国府遺跡 池ノ尻地区	国府字池ノ尻171番地	平成17年１月12日～３月９日	50㎡

4　遺構



平成16年度調査　国府171地区全体図



平成16年度調査　国府171地区　1トレンチ平面図

平成16年度調査　国府171地区　2トレンチ平面図

国府池ノ尻171地区

この調査区では昨年度確認された礎石(そせき)建物址の規模等を把握するために２カ所のトレンチを設定した。ブドウ・モモが植えられ、ビニールハウスの柱もあるため、50㎡の部分発掘にとどまり、遺構の全面発掘調査はできなかった。１トレンチで集石遺構を、２トレンチで礎石建物址１棟を確認した。１トレンチでは集石遺構を、２トレンチでは礎石建物址１棟を確認した。

１トレンチでは集石遺構を確認した。

２トレンチでは礎石建物址１棟分を確認した。礎石２カ所、根石(ねいし)７カ所を検出した。東西２間（４ｍ）以上、南北４間（８ｍ）以上の規模があり、根石の中心から中心までは180cmを測る。

北側の礎石は長径90cm、短径60cmであり、西方へ傾いた状況で出土した。南側の礎石は長径80cm、短径70cmであり、上面は平坦で、直径30cmの柱座の跡を確認した。この礎石は昨年度の発掘調査でも出土している。遺物は土師器(はじき)・須恵器(すえき)・布目瓦(ぬのめ)の破片が出土した。

（内田裕一）

5　遺物

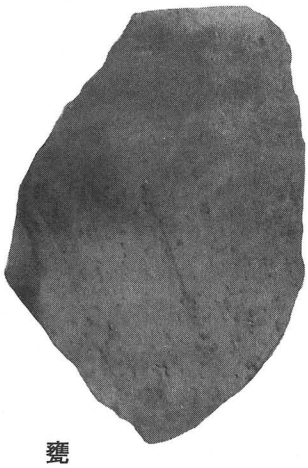
国府池ノ尻171地区では、古墳時代～平安時代の土師器、須恵器、布目瓦が出土した。

特に１トレンチでは古墳時代後期の高坏・甕等が出土した。また炭化物散布層を確認し、炭化米粒子・炭化材が出土した。

（内田裕一）

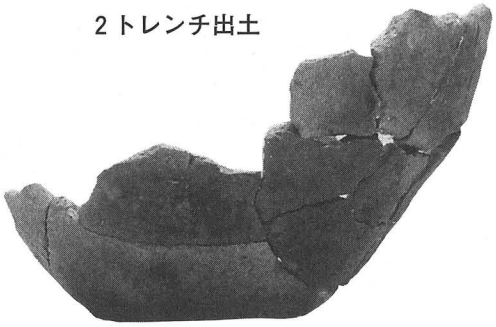
壺

１トレンチ出土



甕

２トレンチ出土



大甕

平成16年度調査　国府171地区出土遺物

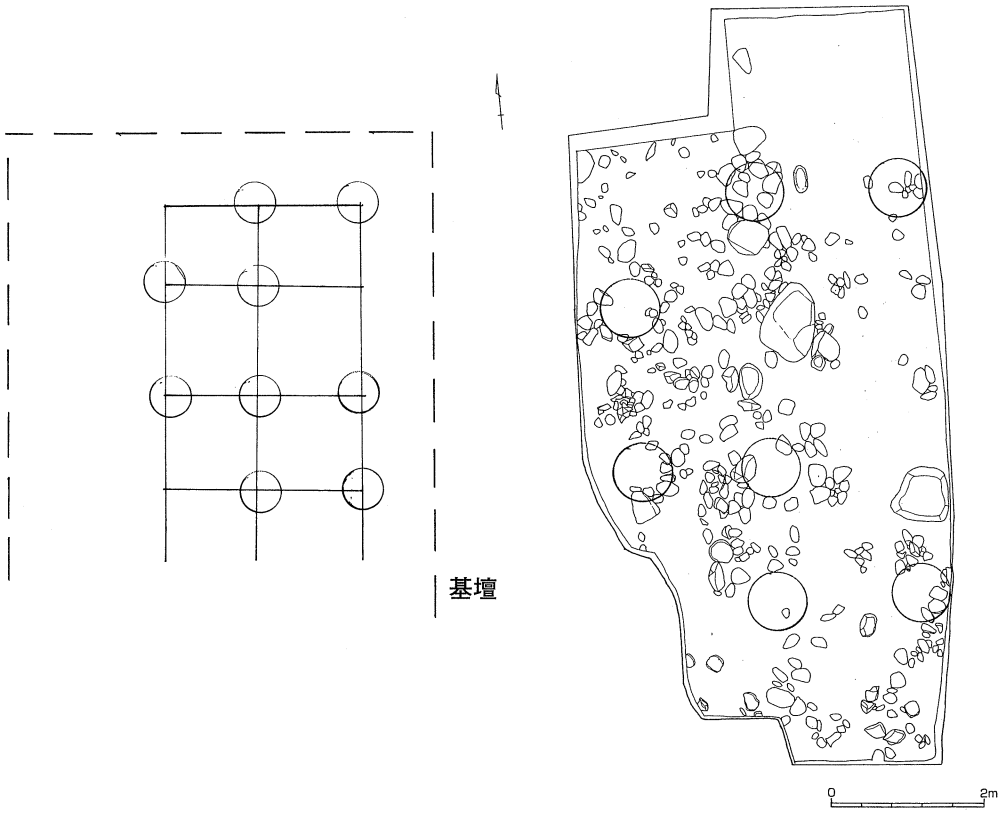
6　まとめと課題

平成16年度の池ノ尻171地区では２つのトレンチ50㎡を発掘した。ビニールハウスでモモとブドウが植えられていたため、発掘調査できた面積は少なかった。トレンチの設定は、池ノ尻171地区で発見された礎石建物址１棟の全面的な確認をめざし、礎石２個と根石13カ所と基壇状遺構を検出した。

２トレンチの遺構は基壇と礎石２個、根石13カ所を発見し、南北棟の礎石建物址の規模を確認することができた。礎石建物址の規模は、南北４間以上、東西２間以上で、総柱の５間×４間と推定される。堅い版築状の基壇面が２トレンチ全体でみられることから、２トレンチの南方と西方にひろがるものとみられる。この礎石建物址を３号建物址と称することにする。建物址の時期は布目瓦と須恵器が伴出していることから、奈良～平安時代と推定できる。一方１トレンチの集石遺構は面としての連続は弱いが、基壇状遺構の外装石材である可能性があり、炭化材と炭化米が面的に集中していることから、古代建物の辺縁であるとみられる。

このことから、国府遺跡では３棟の礎石建物址を確認し、東西に並列で存在するものとすれば６棟以上の南北棟礎石建物が存在することを推定できた。池ノ尻174地区の１号礎石建物址は４間×５間で、総柱構造であること、ならびに、炭化米が多数出土していることから古代奈良～平安時代の正倉と断定されている。６棟以上が集中すれば、山梨郡衙に付属する正倉群（正倉院）の可能性が高い。正倉院は発掘された埼玉県岡部町中宿遺跡（武蔵国榛沢郡家）では正倉17棟があり、南北棟総柱建物でⅠ期～Ⅲ期（７世紀末～８世紀中葉）までは掘立柱建築であるがⅣ期（８世紀後半～　）の倉庫は礎石建物に建て替えられている。中宿遺跡や仙台市郡山遺跡、岐阜県関市弥勒寺東遺跡等の事例からも、郡家郡庁院に付属する正倉（正倉院）とみてよい。古代官衙の調査経験の広い平川南氏（国立歴史民俗博物館教授・山梨県史専門員）や鳥羽政之氏（岡部町教育委員会文化財保護室）の教示により、遺構が甲斐国山梨郡衙（郡家）の正倉の一部である可能性が高いことになった。遺構は畑であり、道の南側は笛吹川氾濫により流されている可能性はあるが、この国府遺跡一帯が古代官衙施設の一角であると推定される。私見では、寺本廃寺に南接する道万町地区は郡庁院の一角であり、池ノ尻地区が正倉院と推定される。これまで甲斐国府関連遺跡の調査を春日居町教育委員会・笛吹市教育委員会は継続してきたが、２年間の調査で山梨郡家の実像に迫る大きな成果を上げることができた。しかし調査では池ノ尻171地区の部分発掘調査にとどまったので、より広い面積の発掘調査を実現し、正倉院と郡家推定施設の広大な発掘を実現していただきたい。国・県・市の行政機関と地権者関口千な子氏や耕作者・地元市民の全面的なご理解とご協力を得ることを切望したい。調査に従事した調査参加者各位・関係者の皆様に厚く感謝する次第である。

（十菱駿武）



2トレンチ3号礎石建物址概念図

平成16年度国府関連遺跡発掘調査関係者名簿

（順不動・敬称略）

◎**調査主任・担当者**　十菱駿武（山梨学院大学教授）

◎**調査員**　内田裕一（笛吹市教育委員会）

◎**調査協力者**　［**地権者**］関口千な子　［**耕作者**］若杉直太　［**作業員**］丸山津枝子・深沢幹子・水上松江・田草川文子・中川あき

◎**事務局**　笛吹市教育委員会　芦原正純（教育長）　高野あけみ（教育次長）　田中勤一（社会教育課長）　小渕忠明　伊藤修二　野崎進　瀬田正明　阿部勲　望月秀和　丹沢節子　望月和幸　川口勝彦　堀内満浩　窪田勇人　丸山浩樹　飯島律

報告書抄録

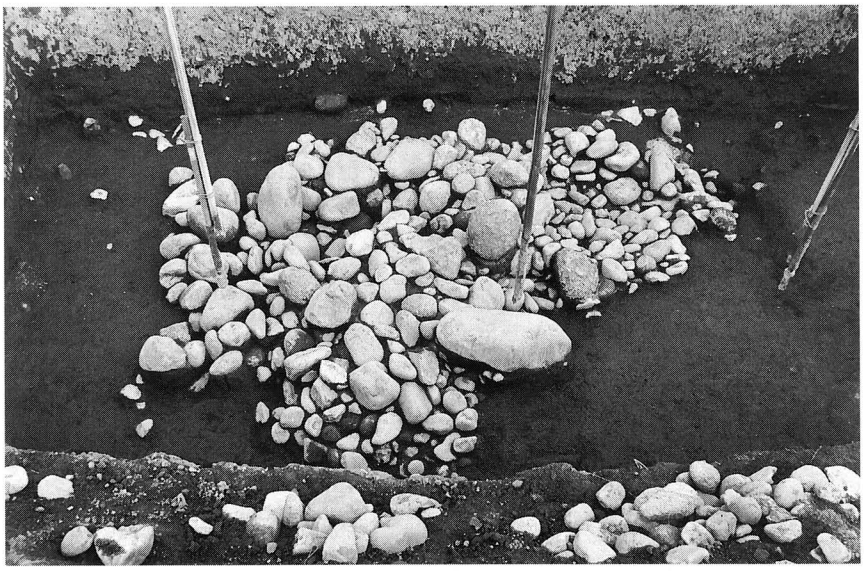
ふりがな	こういせきはっくつちょうさがいようほうこくしょ
書　　名	国府遺跡発掘調査概要報告書
シリーズ	春日居町埋蔵文化財調査報告書
編集者名	十菱駿武、内田裕一
発行所	笛吹市教育委員会
所在地	〒406-8555　山梨県笛吹市八代町南917番地　☎055-265-5852
発行年月日	平成17年３月25日

所在遺跡名	所在地	コード 市町村遺跡番号	調査期間	調査面積	調査原因
国府関連遺跡	山梨県東山梨郡 春日居町国府。		20050113～ 20050331	50㎡	甲斐国府の範囲を確認するための学術調査。

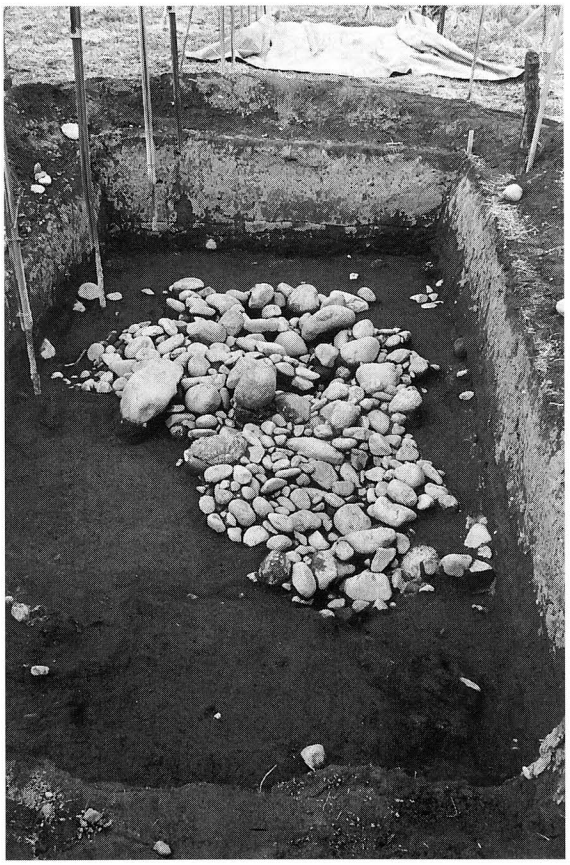
所蔵遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
国府遺跡 池ノ尻地区	役所址	奈良・平安 時代	礎石建物址	土師器、須恵器、布目瓦。	

笛吹市文化財調査報告書　第３集
山梨県笛吹市　国府遺跡
平成16年度国府遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書
平成17年３月25日発行
発行　山梨県笛吹市教育委員会
〒406-8555　山梨県笛吹市八代町南917番地
☎055-265-5852
印刷　デザインオフィス WITH
〒406-0842　笛吹市境川町石橋652-9

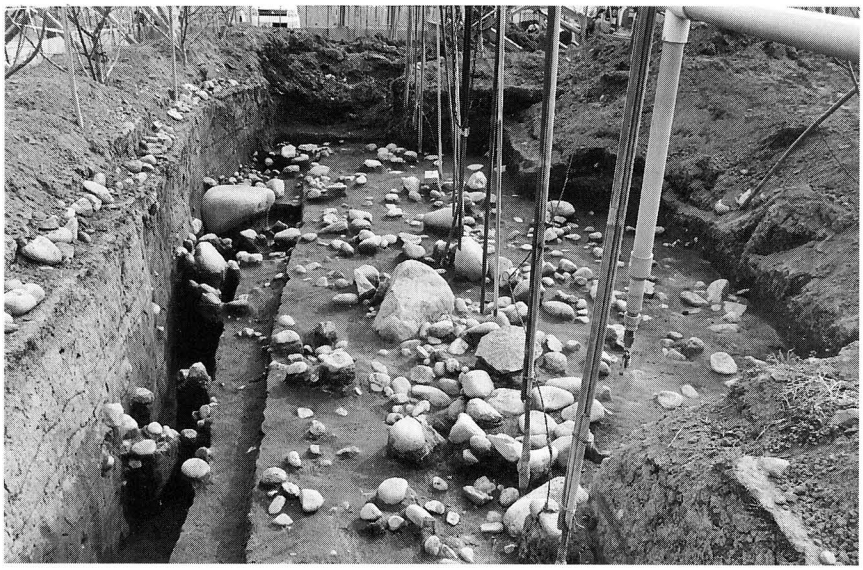
©2005



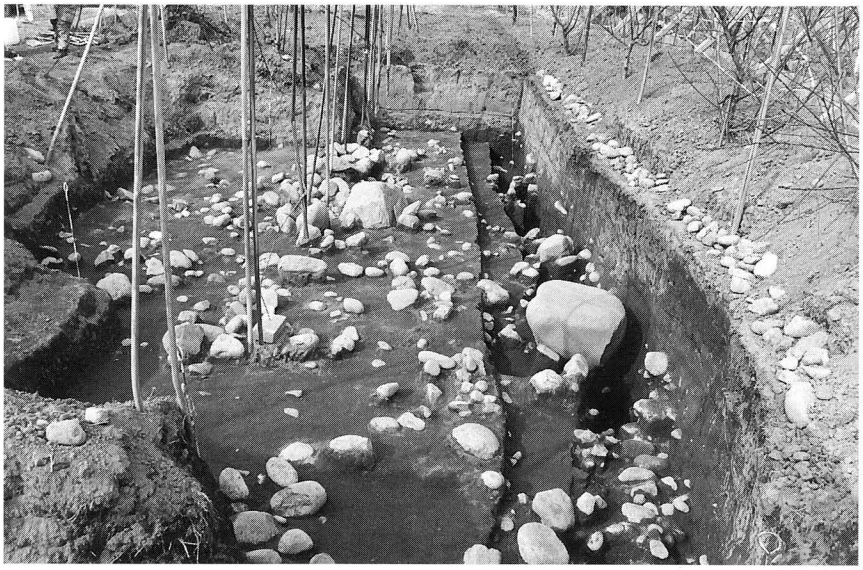
1トレンチ発掘状況（東より）



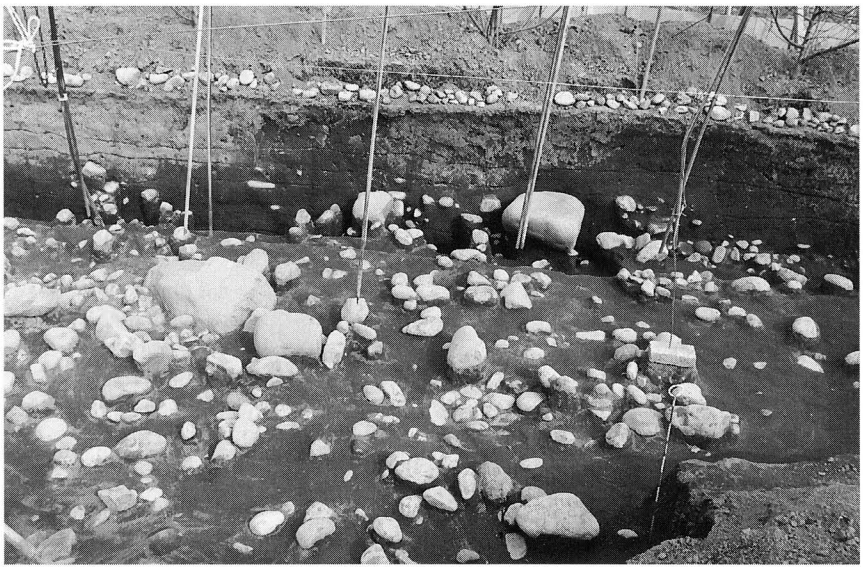
1トレンチ発掘状況（南より）



2トレンチ発掘状況（北より）



2トレンチ発掘状況（南より）



2トレンチ発掘状況（西より）

2トレンチ発掘状況（東より）

Fuefuki City, Yamanashi

The Report of Archaeological Research of KOU · Site

March, 2005

Fuefuki City Board of Education